

平成 28 年度 学校運営計画

1. 本校の性格と任務	①教育基本法および学校教育法に基づいて、中等普通教育を行う。 ②教育の理論・実践に関する研究とその実験・実証を行う。 ③主に金沢大学学校教育学類の学生に対して教育実習の指導を行うとともに、金沢大学大学院教育学研究科・教職実践研究科 院生の研究や実践に協力・指導を行う。	
2. 教育目標	自由闊達な気風の中で、広い視野と豊かな人間性を持ち、将来、社会的使命を果たす生徒を育成する。 ≪目指す生徒像≫ ①自ら考え学ぶ生徒 ②お互いに認め合い、助け合う生徒 ③心身ともにたくましい生徒	
3. 本校の経営方針	①金沢大学の方針、規則に沿った学校運営を行う。 ②学校教育学類、大学院教育学研究科・教職実践研究科や他の附属学校園との連携を密にして、附属学校としての任務の遂行 にあたる。 ③生徒や教職員の自主性を尊重しながら、教育目標や目指す生徒像の具現化を図る。 ④金沢大学附属中学校のよき伝統を受け継ぎ、より良い校風の樹立と継承をめざす。	
4. 今年度の重点目標	①E S Dの視点に立った教育活動を継続しながら、主体的・協働的な学びの深まりを模索する。 ②生徒会活動・学級活動等の場面で生徒の自主的・主体的な取り組みを引き出す。 ③大学院教職実践研究科との連携の在り方を模索し、協力・指導体制を構築する。	
5. 具体的な取り組み	教 育	学習指導 育成すべき資質・能力を踏まえ、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びのスタイルを目標して指導を行う。 生徒指導 生徒理解に努め、自主的な活動や生徒同士のつながりを大切にした指導を行う。 進路指導 生徒の将来を見つめ、特性や個性に配慮した指導を行う。
	研 究	持続可能な社会づくりに必要な資質・能力の育成に向けた授業改善に取り組み、校内外に研究成果を発信する。
	教育実習	基本実習を通して、学生に教師になる自覚・責任を持たせるとともに実践的な指導力を育成する。また、大学院教職実践研究科との連携体制づくりに協力する。
	学校運営	各部会・各学年間の横断的連携を密にし、円滑なコミュニケーションを取りながら学校運営を遂行する。また、保護者や地域との連携をいっそう深め、協力態勢を強化する。